



東部開発のあり方について志村町長と面談



広報常任委員長として議会だよりづくりに努力



としきを支援する グループリレーVol.3 82年会

今回は、としきの同年代グループである82年会を紹介します。82年会は、1982年に増穂中学校を卒業した仲間が中心となり結成されたグループです。たまに集まってワイワイ、ガヤガヤ(笑)今日の出来事、家族のこと、私たちの地域のこと、日本のこと、地球規模のことまで!真剣に語り合う夢のある会です。

としきの活動写真集 Photo!

鳩山首相と私たちの地域を語る

あたらしいまちづくり町民会議の
メンバーと共に新町への夢を語る

望月利樹とネット検索してみてください
わたしたちの地域と未来のために活動を続けています
Eメール toshiki@mirrer.ocn.ne.jp [望月利樹] [検索]



チェンジ! Change Toshiki Mochizuki

望月としき 町政報告

組織内部検討資料
発行・望月としき後援会
平成22年3月15日
山梨県南巨摩郡富士川町最勝寺1188-6
電話 0556-22-8274

～増穂から富士川へ～ 新風は吹き続けます

平成19年4月から、増穂町議会議員としての立場と活動の場を皆様から頂きました。以来、任期中は皆様から頂いた暖かいご支援や叱咤激励を胸に、議会と議員の役割とは何かを自問自答し、町民目線は日々のスタンスを崩さず、不懈に走り続けてきました。あつどう間の議員生活だったと感じています。富士川町誕生を機に、町議会議員の活動に区切りを付け、在野で地域のために働くことといたしました。

改めて私の頂いた任期を振り返りますと、合併議論の過熱から生じた様々な案件や歳計外現金の問題など、まさに激動の議会でした。私を含めた14人の議員、それぞれ方向性は違っていても、町を愛し町民の幸福を思うからこそ過熱した議論が生まれ、その議論の局面では、自らの判断と言動のひとつひとつが議会の意志のつとなる責任感を感じたと同時に、まさに真剣勝負の議会であるからこそ、持論の展開と論破するテ

クニックを習得できた場であったと思います。反面、いくら声を上げて主張しても、超えられない大きな壁を幾度となく感じました。少子高齢化問題、限界集落の問題、国、県レベルで決定されている後期高齢者医療制度に代表される制度の押しつけや、三割自治と揶揄される交付税に頼らざるを得ない地方自治体の財政のしくみ、さらに近年の緊迫した財政状況など、町議会議員の限界を感じて参りました。

私たちの地域の将来は、ここに住む私たち住民が創るもので、地域の現場を直視し医療、年金、介護、子育て、教育、福祉、それその制度決定過程において、私たちの地域に合致した、独自性のある制度づくりが必要だと考えます。これからは地方への権限委譲は加速するはずです。

このような地域主権時代に対応するため、これから的地方自治体の議会は、旧来のよ

うな追従型の議会から脱皮し、提案型の議



～町民の幸せを願って～

報道関係者も詰め掛け、緊迫した雰囲気での討論



会への変革と、今以上に議員ひとりひとりのたゆまぬ勉学と努力が不可欠であると感じています。さて、議論と産みの苦しみを経て、3月8日には、富士川町が誕生しました。私たちのあたらしいまちづくりは、いま始まったばかりであり、全町が一丸となって協力し、智恵をしぼり、力を合わせてこの地域の将来を切り拓くためには、これからがまさに正念場であり、本番ではないでしょうか。

これからは、旧町の垣根を取り除き、共に協力して私たちの未来は私たちの手でつくろうではありませんか！

私自身、地方自治のあり方についてさらに知識を深め、力を付けて行きたいと思うています。今後は、大学院で地方自治を深く学びつつ、別のステージからの活動を視野にいれ、これからも私たちの地域活性化に貢献したいと考えています。

たゆまぬ勉学と努力が不可欠であると感じています。



としきの約束とこれまでの成果

立候補時に選挙公報にて発表した皆様との約束。
“実現”する努力をいたしました。

約束

子どもと女性・高齢者・
障がい者にやさしい町を!

高速インターネット
(光回線等)接続環境の実現!

循環型社会へ
“もったいない”
の精神で取り組みます。

増穂インターチェンジを
活用した地域の活性化と
東部開発

スポーツ振興と地域の
“こころ”的つながりを大切に

成果

- ☆保育料値下げと見直し(20年6月議会)
- ☆医療費窓口無料化(20年12月議会)
- ☆障がい者駐車スペース確保請願の紹介議員
- ☆デマンド・バスの推進(21年6月議会)
- ☆出生一時金の医療機関への直接払い
- ☆妊産婦検診の補助の拡大
- ☆鰐沢病院存続のための署名活動

☆就任時より活動、
実現(19年9月議会)

☆リサイクルステーションの設置
☆町内の家庭ごみ収集車燃料を
てんぷら油(バイオ燃料)化へ
☆粗大ごみの通年回収の実施
☆遊休農地解消へ、有機肥料を提供協力

☆水辺プラザ検討委員会(町民参加)の設立
☆東部と連携した都市計画道路の計画提案
☆空き店舗を利用した街角コンサートの開催
☆東部開発事業の推進
☆道の駅検討委員会(町民参加)設立への提言

☆利根川グランドの改修整備
☆殿原スポーツ公園の修繕整備
☆親子スポーツの学び舎の開催
☆市民体育館トレーニング設備充実

一般質問内容

平成19年6月 合併のあり方について

9月 “光”などの高速インターネット通信網整備について

12月 介護現場の救済と介護従事者の待遇改善について

平成20年3月 町民の声を反映させた東部開発の提言について

6月 保育料の見直しについて

9月 東部開発と連携した都市計画道路の整備と見直しについて

12月 子ども・ひとり親家庭・心身障がい者医療費の窓口無料化

平成21年3月 第4期介護保険制度の利用者本位の見直しへの提言について

6月 デマンド・バス早期実現と新型インフル対策への周到な準備

9月 東部開発の進捗状況と町民の意見を取り入れた将来ビジョン

12月 医療費の窓口無料化の進捗状況と新型ウイルス対策の現状

これからの課題…。

- 鰐沢病院存続の具体化などの地域医療の充実
- 遊休農地の解消と森林資源の活用
- 中学3年生までの医療費窓口無料化の実現
- 子ども、障がい者、高齢者が安心できる
地域づくり
- 未満児保育の環境整備と放課後児童教室の充実
- リニア、中部横断道開通を視野に入れた魅力ある
地域整備と歴史的価値のある観光資源の再発見
- 後期高齢者医療制度などの医療制度の見直し
- 介護現場の救済と介護従事者の環境改善

まだまだ、問題はたくさんありますね…。



仲間でアルミ缶を集めて換金し、海外にワクチンを送りました。

平成21年10月、平林ふるさと自然塾にて、U-40チャリティーバーベキュー大会を開催しました。秋晴れの中、80名ほどの仲間たちが集い、グランドゴルフ大会などのアトラクション後、集めたアルミ缶を換金したり、参加者に募金などを募った結果、39,400円が集まり、海外めぐまれない子どもたちへのワクチン確保のため「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付しました。

この団体はプロ野球福岡ソフトバンクホークスの和田投手が、1球投げることにワクチン10本を贈るというルールをつけて寄付を続けている団体であります。恵まれない海外の子どもたちのために、みんなの少しの善意を集めて、これからもワクチンを贈りたいと思っています。

世界の子どもにワクチンを日本委員会

URL <http://www.jcv-jp>



望月としきは開催されたすべての定例会で一般質問をしました

